

みどり市都市計画マスタープランを改定します

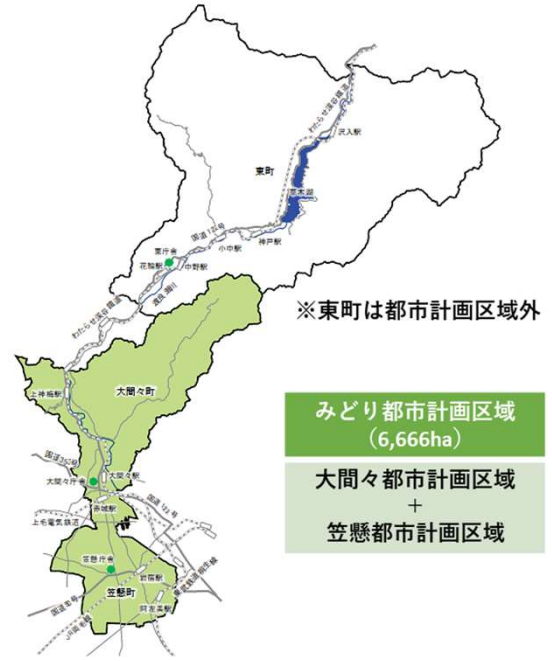
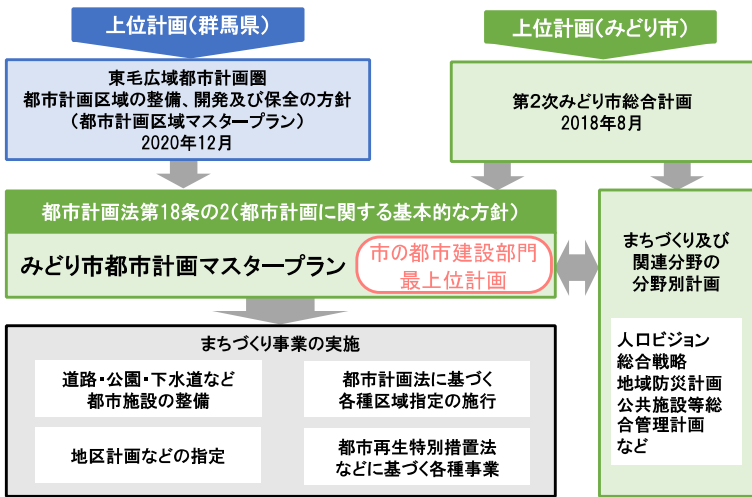
(2024年度改定予定)

都市計画マスタープランとは

都市計画マスタープランとは「**市町村の都市計画に関する基本的な方針**」のことであり、都市計画法第18条の2の規定に基づいて定めるものとされています。

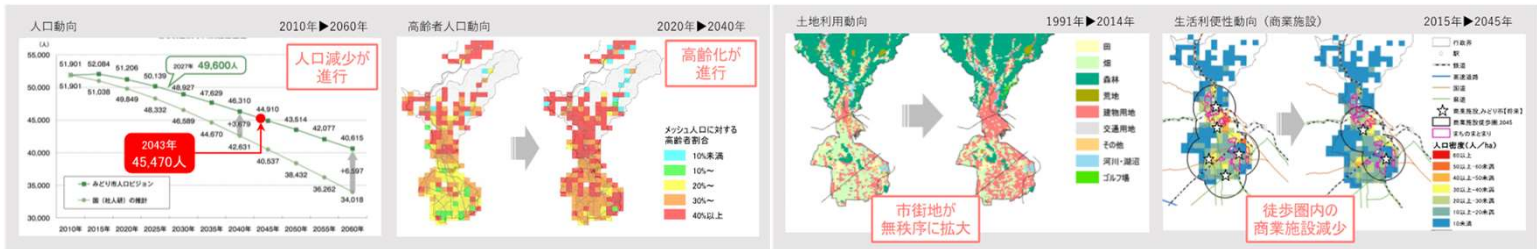
都市計画マスタープランは、土地利用や道路・公園・下水道等の施設整備、自然環境の保全や景観の形成など、望ましい将来都市像やまちづくりの方向性を総合的に示す計画で、今後のまちづくりを進める上で指針となるものです。

- 対象地域 : みどり市全域
- 計画期間 : 概ね20年間
- 目標年次 : 2043年



みどり市の現状とまちづくりの課題

現状 人口減少・少子高齢化の進行 市街地の無秩序な広がり 道路や下水道の老朽化 空き家の増加 など



みどり市の強み

公共交通で優位

- ・市内に多くの鉄道が走っており交通手段を選択できる

人を惹きつける場所がある

- ・日中、他都市から仕事や買い物、観光などの目的で多くの人々が本市を訪れている

みどり市の弱み

自動車への高い依存

- ・多くの住民が自動車中心の生活を送っており、近隣への移動の際も自動車を利用している人が多い

憩いの場所が不足

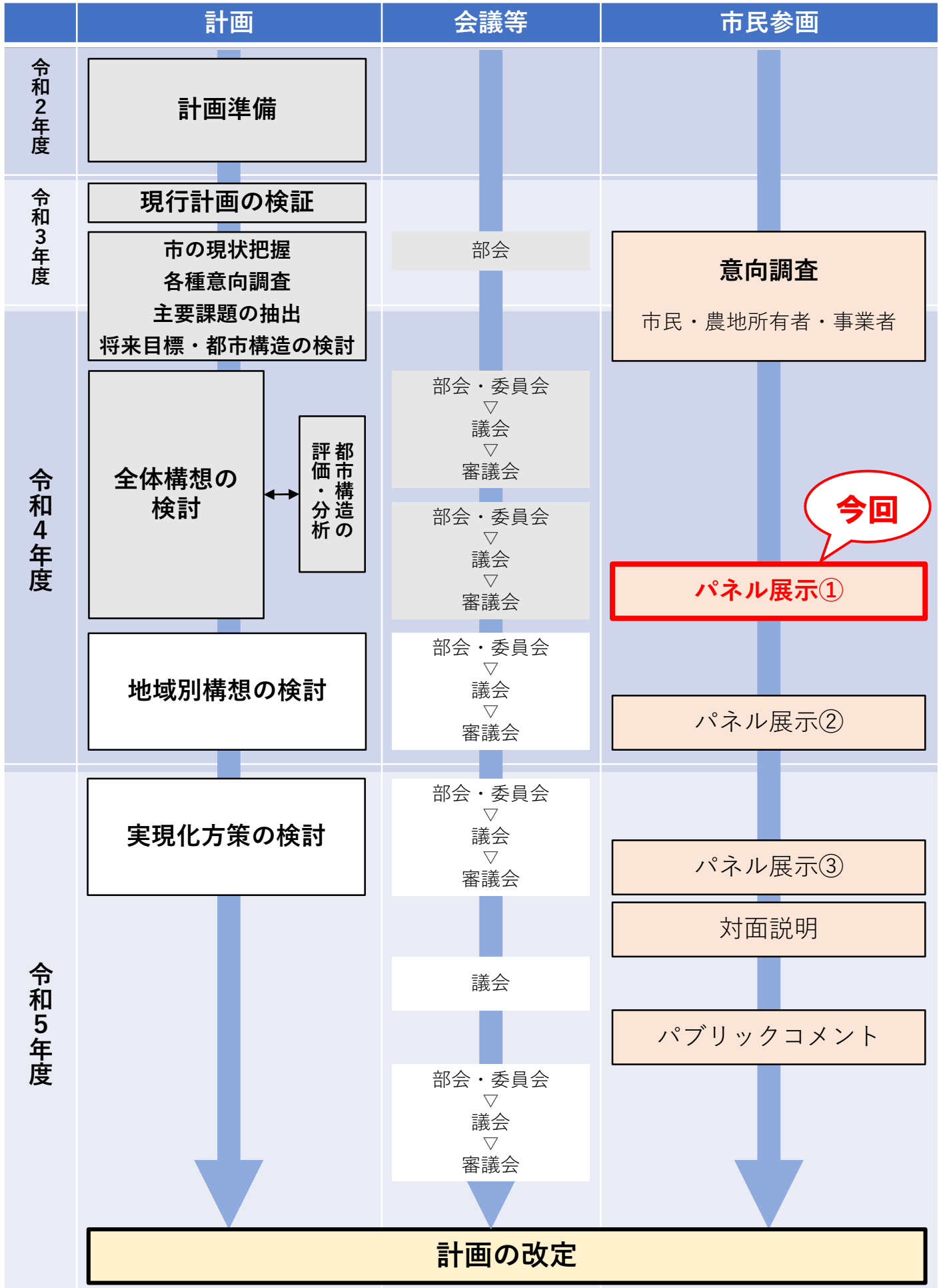
- ・高齢者が多く住んでいる地域に公園が少ない

将来の課題は...

『強み』を活かし、『弱み』を克服しながら、『現状』の問題解消に取り組みます。

改定スケジュール

都市計画マスタープランの改定は、以下のスケジュールで進めています。



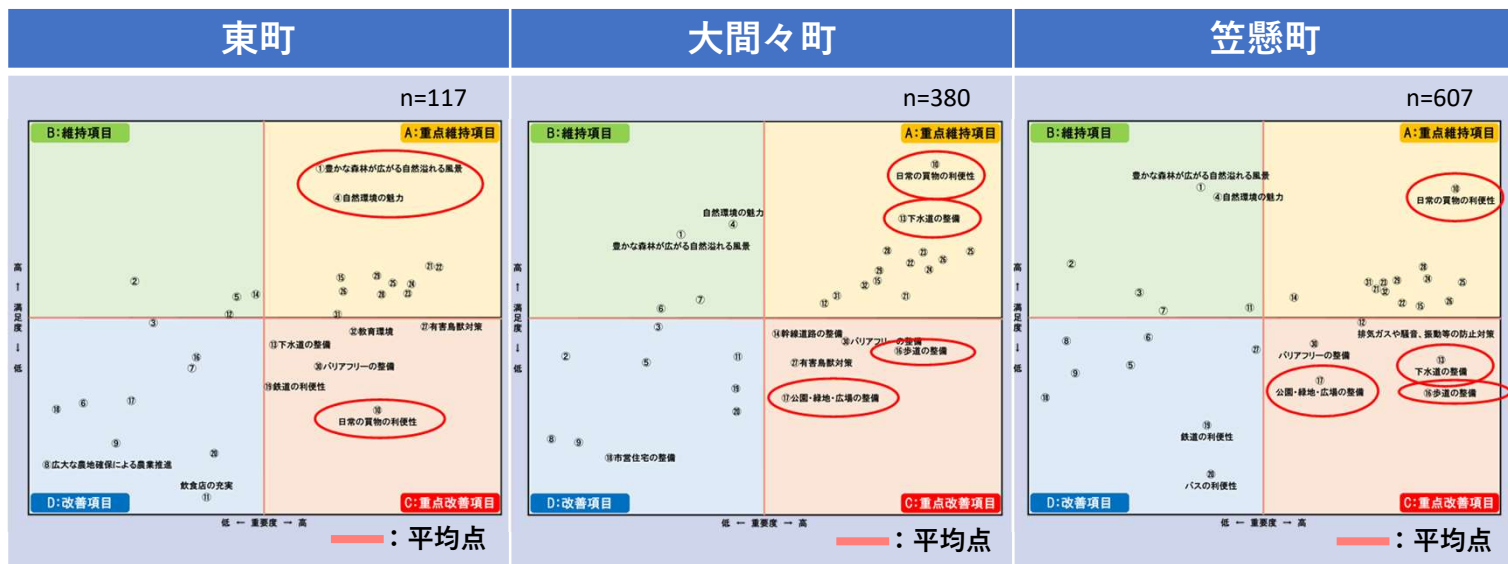
市民の意向

まちづくりに対する市民の皆さんの意向を把握するために、アンケート調査を実施しました。

市民意向調査 概要	
目的	今後のまちづくりに対する意見や認識を集約
調査対象	3,000人
回答者数	1,115人 (回答率 37.2%)
調査期間	令和3年6月14日～7月30日

評価項目		評価項目	
景観	① 豊かな森林が広がる自然溢れる風景	公共施設整備	①7 公園・緑地・広場の整備
	② 広大な農地が広がるのどかな風景		①8 市営住宅の整備
	③ 歴史的建造物や街並みの保全	公共交通	①9 鉄道の利便性
④ 自然環境の魅力	②0 バスの利便性		
観光	⑤ 観光施設の充実	安全・安心	②1 土砂災害対策
	⑥ 祭りや催し物の魅力		②2 水害対策 (豪雨対策等を含む)
歴史・文化	⑦ 伝統文化の保存・継承		②3 火災予防対策
	⑧ 広大な農地確保による農業推進		②4 地震災害対策
産業	⑨ 企業誘致による工業推進		②5 防犯対策
	⑩ 日常の買物の利便性	②6 交通安全対策	
生活環境	⑪ 飲食店の充実	保健・福祉	②7 有害鳥獣対策
	⑫ 排気ガスや騒音、振動等の防止対策		②8 保健医療の施設整備やサービス状況
	⑬ 下水道の整備	②9 福祉の施設整備やサービス状況	
公共施設整備	⑭ 幹線道路の整備	子育て	③0 バリアフリーの整備
	⑮ 生活道路の整備		③1 保育環境
	⑯ 歩道の整備	③2 教育環境	

お住まいの地域に対する満足度と重要度



A 重点維持項目

(重要度、満足度が高い)

- ① 豊かな森林が広がる自然溢れる風景
- ④ 自然環境の魅力

A 重点維持項目

(重要度、満足度が高い)

- ⑩ 日常の買物の利便性
- ⑬ 下水道の整備

A 重点維持項目

(重要度、満足度が高い)

- ⑩ 日常の買物の利便性

C 重点改善項目

(重要度が高く、満足度が低い)

- ⑩ 日常の買物の利便性

C 重点改善項目

(重要度が高く、満足度が低い)

- ⑬ 歩道の整備
- ⑯ 公園・緑地・広場の整備

C 重点改善項目

(重要度が高く、満足度が低い)

- ⑬ 下水道の整備、⑯ 歩道の整備
- ⑯ 公園・緑地・広場の整備

【自由意見】

- わたらせ渓谷鉄道や自然を生かした観光地をもっと作るべき(20代)
- 農地がどんどん空いてくるのが予想されるので、その後の土地の活用が問題になる(40代)
- マイカーがない人は、年をとってからの買い物や通院が困難(50代)
- 魅力的な自然があり、首都圏との交通アクセスも整っているので外部にもっとアピールしてほしい(50代)
- 道路が狭く崖もあるので災害時が心配(70代)
- 鳥獣被害対策(70代)

【自由意見】

- 市内に企業を誘致して、雇用を作れば人口流出の防止になる(20代)
- 空き家は災害時、防犯にも不安なので対応して欲しい(20代)
- 銅街道は歩道が狭いのにトラックがたくさん通るので危険(30代)
- 大間々祭りは町の代表的な名物のため続けてほしい(40代)
- 商店街の再生・活発化(50代)
- 子供たちが遊べる公園を設置してもらいたい(60代)
- 市街地周辺の渋滞を解消してほしい(全年代)

【自由意見】

- 子供を遊ばせるための公園が少ない(20代)
- まちの活性化に繋がるので企業誘致を積極的に行ってほしい(20代)
- 友人と遊ぶスポット、服や雑貨を買いに行ける施設の充実(20代)
- 生活道路に歩道がなく子どもが危険(30代)
- 企業誘致による地元雇用と税収アップ(60代)
- バスの定期運行を望む(70代)
- 大雨の時に道路が冠水するため下水道の整備をしてほしい(全年代)

農地所有者・事業者の意向

まちづくりに対する農地所有者・事業者の皆さんの意向を把握するために、アンケート調査を実施しました。

農地所有者意向調査 概要	
目的	現在の農地の利用状況や今後の利用方法について把握
調査対象	1,000人
回答者数	501人 (回答率 50.1%)
調査期間	令和3年12月6日～令和4年7月31日

事業者意向調査 概要	
目的	現在の経営上の不安や今後の経営について把握
調査対象	947社
回答者数	400人 (回答率 42.2%)
調査期間	令和3年12月6日～令和4年7月31日

東町	大間々町	笠懸町
----	------	-----

農地所有者の意向

東町	大間々町	笠懸町
【回答者の年齢】 60代 34%、70代以上 62% (60代以上 96%)	【回答者の年齢】 60代 29%、70代以上 58% (60代以上 87%)	【回答者の年齢】 60代 33%、70代以上 47% (60代以上 80%)
【将来の農地の活用意向】 n=100	【将来の農地の活用意向】 n=165	【将来の農地の活用意向】 n=223
【離農したい理由】 1位：高齢化・労働力不足(37%) 2位：売却したい(14%) 3位：土地条件が悪い(11%)	【離農したい理由】 1位：売却したい(31%) 2位：高齢化・労働力不足(25%) 3位：後継者不足(17%)	【離農したい理由】 1位：高齢化・労働力不足(38%) 2位：売却したい(35%) 3位：後継者不足(17%)

事業者の意向

東町	大間々町	笠懸町
【経営のしやすさ】 経営しやすい 15% 経営しにくい 42%	【経営のしやすさ】 経営しやすい 31% 経営しにくい 21%	【経営のしやすさ】 経営しやすい 43% 経営しにくい 10%
【悩み・不安】 1位：人員・人材の確保(21%) 2位：市内の人口減少(21%) 3位：価格競争力(13%)	【悩み・不安】 1位：人員・人材の確保(23%) 2位：市内の人口減少(18%) 3位：道路アクセス(12%)	【悩み・不安】 1位：人員・人材の確保(25%) 2位：後継者の育成(11%) 3位：価格競争力(10%)
【経営の際に重視する立地環境等】 n=19	【経営の際に重視する立地環境等】 n=137	【経営の際に重視する立地環境等】 n=243

将来都市像

第2次みどり市総合計画

まちづくりの理念

- ・人が生きることと豊かな自然が共生するみどり市をつくります
- ・人の活動とまちの資源が織りなす豊かさづくりに取り組みます
- ・人とひとが助け合い、協働してまちづくりに取り組みます

将来像 『輝くひと 輝くみどり 豊かな生活創造都市』

みどり市都市計画マスタープラン

まちづくりの理念

豊かな自然と多様な特性を生かし、人々が心豊かに生活できるまちづくりの実現

将来像

輝くひと 輝くみどり 豊かな生活創造都市

まちづくりの目標

みどり市としての一体的なまちづくり

合併後に培ってきた笠懸町、大間々町、東町の3町の連携をさらに強固にし、それぞれの特性と資源を生かしながら、市民と行政が協働したみどり市としての一体的なまちづくりを進めます。

人々が輝きながら暮らせるまちづくり

年齢や障害の有無に関係なく、全ての人々が快適・安全・安心に暮らしていくことができるまちづくりを進めます。

輝くみどりと市街地が共生するまちづくり

本市の貴重な財産である豊かなみどりを保全する一方で、多くの人々が生活して活動する市街地を計画的に形成し、それらが共生するまちづくりを進めます。

多くの人々が集まり活力のあるまちづくり

恵まれた自然資源や歴史資源などを活用しながら、人々が活動しやすい場の整備を進め、多くの人々が居住するだけでなく、訪れることで交流・活力が生まれるまちづくりを進めます。

明るい未来につながるまちづくり

災害に強く、将来にわたって魅力と活力のあるまちを形成し、後世に引き継いでいくことができるまちづくりを進めます。

将来都市構造

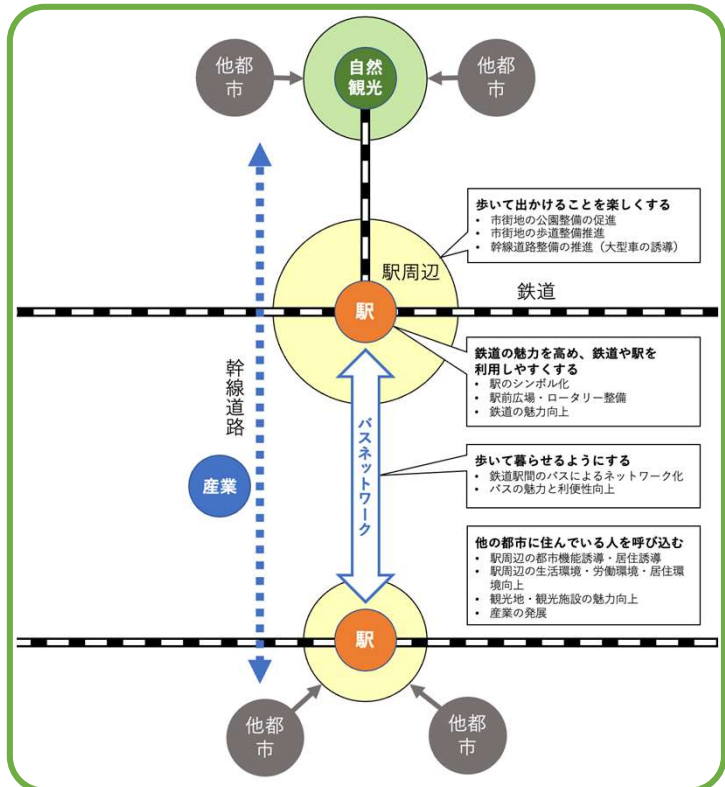
●将来都市構造の視点

- ◆ 歩いて暮らせるようにする
- ◆ 歩いて出かけることを楽しくする
- ◆ 鉄道の魅力を高め、鉄道や駅を利用しやすくする
- ◆ 他の都市に住んでいる人を呼び込む

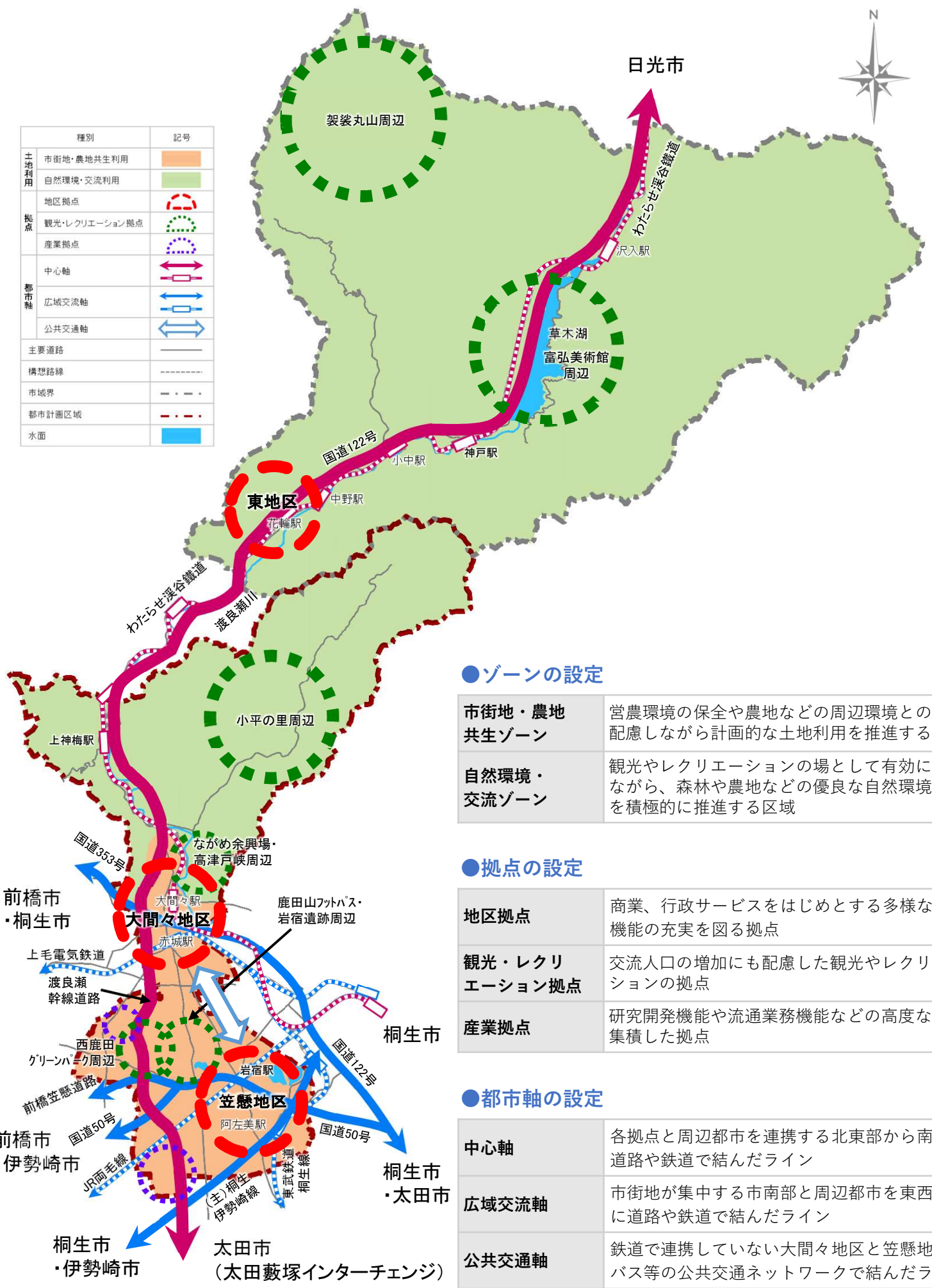
将来都市構造の設定にあたっては、現在、本市が持っている公共交通の優位性や、人を惹きつける施設等の存在といった『強み』を活かすことを目指します。

また自動車への依存度が高いことによる交通事故への懸念や公共交通の衰退、運動不足による健康被害、憩いの場が不足することによるコミュニケーション不足などといった『弱み』に打ち勝つことができる都市構造を目指します。

【将来都市構造の概念図】



将来都市構造図



種別	記号	
土地利用	市街地・農地共生利用	
	自然環境・交流利用	
拠点	地区拠点	
	観光・レクリエーション拠点	
	産業拠点	
都市軸	中心軸	
	広域交流軸	
	公共交通軸	
主要道路		
構想路線		
市域界		
都市計画区域		
水面		

●ゾーンの設定

市街地・農地共生ゾーン	営農環境の保全や農地などの周辺環境との共生に配慮しながら計画的な土地利用を推進する区域
自然環境・交流ゾーン	観光やレクリエーションの場として有効に活用しながら、森林や農地などの優良な自然環境の保全を積極的に推進する区域

●拠点の設定

地区拠点	商業、行政サービスをはじめとする多様な都市機能の充実を図る拠点
観光・レクリエーション拠点	交流人口の増加にも配慮した観光やレクリエーションの拠点
産業拠点	研究開発機能や流通業務機能などの高度な産業が集積した拠点

●都市軸の設定

中心軸	各拠点と周辺都市を連携する北東部から南部を道路や鉄道で結んだライン
広域交流軸	市街地が集中する市南部と周辺都市を東西方向に道路や鉄道で結んだライン
公共交通軸	鉄道で連携していない大間々地区と笠懸地区をバス等の公共交通ネットワークで結んだライン

全体構想

全体構想については、「政策テーマ別構想」と「分野別構想」に分けて設定します。

政策テーマ別構想

本市が発展していくために、第2次みどり市総合計画に基づく各分野の施策との連携を十分に図りながら、市民との協働のもと積極的に取り組むまちづくりに関して都市計画の基本的な考え方を示すものです。

分野別構想

まちづくりの基本方針と政策テーマ別構想を受けて、都市計画の分野ごとに基本的な考え方を示すものです。

●政策テーマ別構想と分野別構想の関連表

	分野別構想				
	土地利用の方針	交通体系の整備方針	公園緑地の整備方針	河川下水道等の整備方針	公共施設等の整備方針
○まとまりとつながりを持つ環境にやさしいまちづくり					
・コンパクトで暮らしやすいまちの形成	●	●			●
・快適な都市環境の形成	●	●		●	●
・地域の強みを活かし互いに連携した都市構造	●	●			
・貴重な自然環境の保全・活用	●	●	●	●	
○安全に安心して暮らし続けることができるまちづくり					
・頻発・激甚化する災害等に対する防災力の強化	●	●	●	●	●
・交通安全の確保	●	●			
○いつまでも活力あふれるまちづくり					
・拠点を核とした活力の創出	●	●	●		●
・魅力ある観光まちづくり	●	●			
・活動・憩いの場の創出	●	●	●	●	
・歴史文化的資源を活用した賑わいの創出	●	●			

政策テーマ別構想

○まとまりとつながりを持つ環境にやさしいまちづくり

- ・まちのまとまりを意識した集約型都市構造を踏まえたまちづくり（コンパクトシティ）
- ・快適な都市環境の形成
- ・地域のつながりを意識した魅力や個性を創出する多心型都市構造（都市機能の有機的な連携）
- ・公共交通ネットワークの有効利用（誰もが自由に移動できる公共交通）
- ・地球にやさしいを意識した貴重な自然環境の保全・活用

○安全に安心して暮らし続けることができるまちづくり

- ・災害時にも機能する都市基盤の強靱化
- ・頻発・激甚化する災害に対する防砂力の強化
- ・高齢化に対応した交通安全の確保

○いつまでも活力あふれるまちづくり

- ・拠点を核とした活力の創出
- ・魅力ある観光まちづくり
- ・活動、憩いの場の創出
- ・歴史文化的資源を活用したにぎわいの創出

全体構想

分野別構想

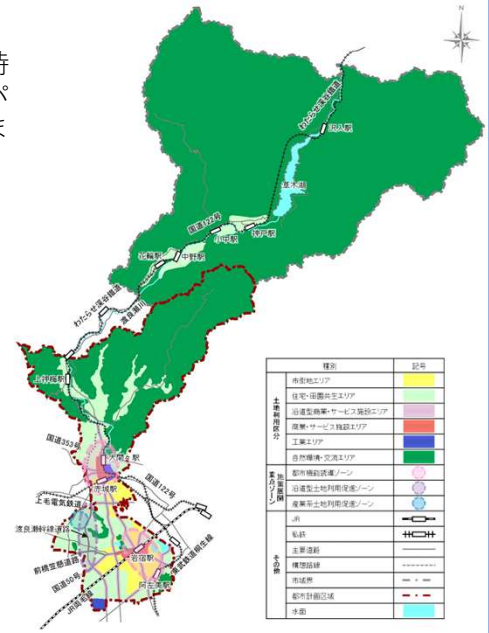
本市における都市計画の5つの分野の考え方を示します。

○各分野における施策の方向性

土地利用	計画的な土地利用の推進(笠懸町・大間々町) 自然環境の保全と活用(東町)
交通体系	交通体系の網羅的な見直し
公園緑地	公園と緑地等の充実化と適正な山林等の活用
河川下水道等	都市化に合わせた総合治水対策と生活基盤の整備推進
公共施設等	公共施設等の適正な規模と配置の適正化

■ 土地利用

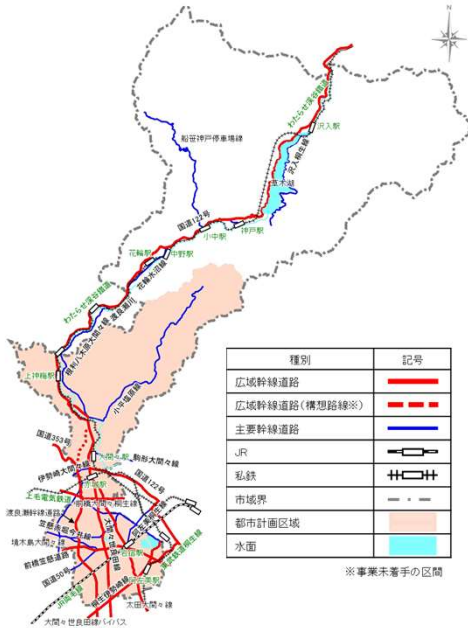
○それぞれのまちの特性に合わせて、コンパクトで暮らしやすいまちに磨き上げます



■ 交通体系

○すべての利用者が使いやすい公共交通環境を整備します

○幹線道路や都市計画道路など、各道路の役割に沿った交通基盤を整備します

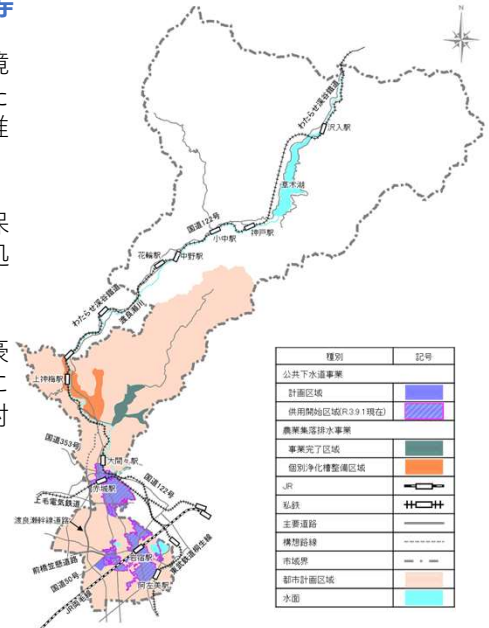


■ 河川下水道等

○治水対策や水辺環境の保全・向上を図るため、河川等の整備を推進します

○良好な生活環境を保つため、適正な汚水処理を推進します

○道路の冠水や集中豪雨による被害を未然に防ぐため、雨水排水対策を推進します

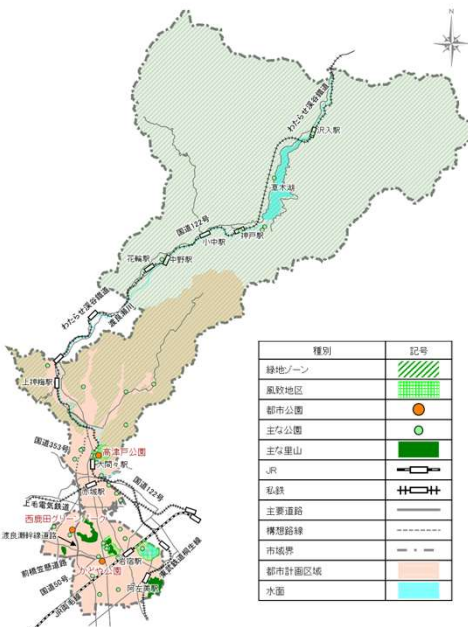


■ 公園緑地

○地域の状況に見合った公園の配置と、多様なニーズに応じた整備を計画的に推進します

○緑地等を適切に保全し活用します

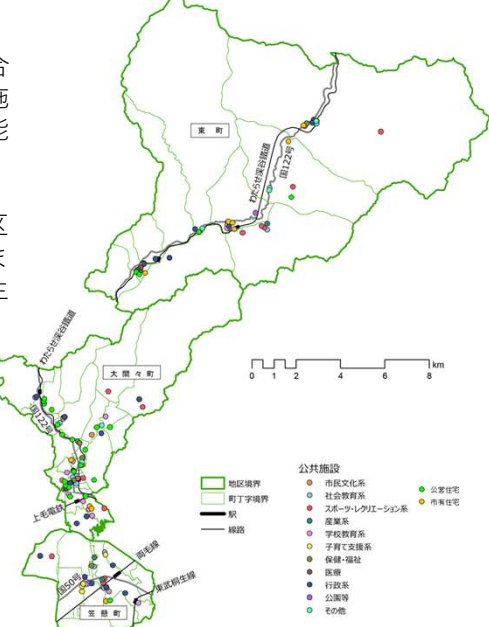
○街路樹整備などによる緑豊かな居住空間の形成を推進します



■ 公共施設等

○都市機能の更新に合わせて、既存の公共施設等の複合化や多機能化を推進します

○生活利便性の高い区域への居住誘導も踏まえた、公営住宅の再生や再編を推進します



皆さまのご意見をお聞かせください！

Q1 まちづくりの目標(パネル5枚目中段)を見て、将来のみどり市は、どんなまちになってほしいと思いますか？最大2つ選んでシールを貼ってください。

シールの凡例

年齢 お住まい		10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
		みどり市内	笠懸	K	K	K	K
	大間々	o	o	o	o	o	o
	東	A	A	A	A	A	A
みどり市外		●	●	●	●	●	○

みどり市としての一体的なまち

3町が連携し、それぞれの特性と資源を生かしながら市民と行政が協働したまち

人々が輝きながら暮らせるまち

年齢や障害の有無に関係なく、全ての人々が快適・安全・安心に暮らせるまち

輝くみどりと市街地が共生するまち

豊かなみどりと多くの人々が生活して活動する市街地が共生するまち

多くの人々が集まり、活力のあるまち

自然資源や歴史資源を活用しながら、多くの人々が居住するだけでなく、訪れることで交流・活力が生まれるまち

明るい未来につながるまち

将来にわたって魅力と活力があり、後世に引き継いでいくことができるまち

その他(具体的な内容を紙にお書きください)

Q2 全体構想(パネル7枚目・8枚目)を見て、みどり市に住んでいて(住むとしたら)、それぞれの地域がどんな地域になってほしいと思いますか？
それぞれの地域で1つずつ選んでシールを貼ってください。

各地域		① コンパクトに まとまり、地 域の魅力や個 性を活かした 地域	② 公共交通 (鉄道・バス) が便利で、誰 もが移動しや すい地域	③ 安全・安心し て暮らし続け ることができる 地域	④ 貴重な自然環 境が守られた みどり豊かな 地域	⑤ その他 (具体的な内容 を意見記入票 にお書きくだ さい)
笠 懸	阿左美					
	鹿・久宮・ 西鹿田					
大 間 々	大間々 北東部 (高津戸・ 大間々北部)					
	大間々 中南部 (大間々 本町通り・ 赤城駅南部)					
	大間々西部 (桐原・ 瀬戸ヶ原)					
東						

最後までご覧いただき、ありがとうございました！